

「障がいのある方が地域で 安心して暮らすために」

福井市障がい者自立支援協議会
居宅生活支援部会

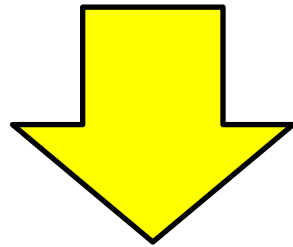
自立支援協議会とは？

障害者総合支援法に基づき、市内で生活する障がい者に関する保健・教育・福祉・就労等の課題を関係機関で共有し、それらの課題解決に向けて新たな社会資源や支援システムを作っていくことを目指して、平成19年に設置されました。

居宅生活支援部会では、**障がいのある方の地域の理解促進**を目的に、地域での研修会を開催しています。

今回の研修開催にあたって

平成26年度末、自立支援協議会の中で「病気・障がいのある方が地域で安心して生活していく難しさが報告されました。」



関係機関で「病気・障がいのある方が安心して生活していけるように**応援するネットワーク**」を作らなければならない!!

「障がい者」

この言葉で

何をイメージしますか？

『「障がい者」とは誰のことなのか』
という問いは意外に難しく複雑

“特別な人”じゃない

「障がい者」とひとことでも…

	例
身体障害	何らかの理由(先天性、後天性)によって四肢機能に障害がある方
知的障害	全般的な知的機能が明らかに遅滞
精神障害	統合失調症、双極性障害、うつ 等
発達障害	自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害 等
内部障害、難病	透析を受けている方、治療方法が確立していない希少な疾患のある方
障害及び社会的障壁により継続的に日常生活または社会生活に相当な制限を受ける状態にあるもの	

地域の民生委員さんから挙がった困りごとの例

1. ひきこもり

自宅内外で大声で奇声を発する30代程のひきこもりの男性。暴れるようなことはないが、近所の方から苦情が挙がっている。過去に通院歴があるようで、同居の兄が再度受診を勧めたが、聞き入れず。

以前に近所の方が警察を呼んで訪問したことがあるが、その時は出てこなかった。

2. ひきこもり/高齢者家族

50代前後のひきこもりの男性。近所から苦情が出ていることはないが、対応が難しい。

最近、万引きをして逮捕されたが、釈放されている。

両親がすぐ近くに住んでいるが、父親は状況理解する力が低く思われ、母親は病気を患い介護を受けている。弟が同居しているが、こちらも状況を理解する力が低いと思われる。以前からゴミの分別ができない家庭で、近所から迷惑がられている。

地域包括支援センター主催のケース会議（母親の介護に関して）が開催され、専門家による支援が進みつつある。

3. うつ

家に閉じこもることが多く、うつがひどくなると民生委員に連絡して来るので、**気持ちが落ち着くまで話を聞いてあげている**。以前、自傷行為も見られていた。

4. ひきこもり

50代の一人暮らし男性。買物に出掛けているようだが、まともに食事をしていないのか、痩せていて以前、隣の家の人が食事を届けてあげたこともある。

民生委員から『よりそい』に電話して担当者に訪問してもらえたようだ。

5. 知的障がいを持った母子

重度の知的障害を持った20代の子と軽度の知的障害がある母親の2人家族。母親は金銭の管理が上手く出来ず、近所のお年寄りに金を借りて、返さないことを繰り返している。**ケース会議が開催されて支援体制が出来、母親が病院受診して診断書が出た様子。**

当事者・家族の声（望む気配りと声かけのポイント）

1. 特別扱いではなく、自然な関わりをしてほしい。

○「おはよう」、「こんにちは」等の日常的なあいさつをする。

2. 困っていそうな時にそっと声をかけてほしい。

○「何か困ったことがあれば、声をかけて下さい」と発信する。強制しないやさしい問いかけが安心につながる。

3. ジロジロ見ずに、理解しようとする姿勢でしてほしい。

○本人、家族がパニックになってしまった時には否定せず、見守るだけで助けになる。

4.『地域の一員』として見てほしい。

○地域の活動に『参加することに意味がある』という姿勢で見守ってほしい。

「来てくれてうれしいよ」「また来てね」など声をかける。

5.定期的に声を掛けて頂き、孤立させないようにしてほしい。

○地域の行事（納涼祭や祭りなど）の時に声を掛ける。

○一人暮らしの方の場合、自宅に電気が点いているかどうか気に掛ける。

障がいのある方への「合理的配慮」

皆さま、ご存じですか？

令和6年（2024年）4月1日から事業者による
障がいのある人への合理的配慮の提供が
義務化

『合理的配慮』とは

障がいのある方も障がいのない方と同じように人権が保障されるとともに、教育や就業、社会生活において平等に参加できるように、障害特性や困りごとに合わせておこなわれる配慮のこと。

つまり、障害のある方が、周りと同じように生活したり、サービスを使ったりできるように、必要な工夫や手助けをすること

これってどうなの？

【飲食店にて】視覚障害のある方から盲導犬同伴で入店したい旨の申し出があった。

【対応例】盲導犬同伴での入店は認めていない旨を伝え、入店をお断りした。

【小売店にて】混雑時に視覚障害のある方から

「店内を付き添って買い物を補助してほしい」と申し出があった。

【対応例】混雑時のため付き添いは出来ないが、店員が買い物リストを書き留めて商品を準備することは可能である旨を提案した。



【ホテルにて】精神障害のある方がホテルに宿泊していたが、トイレが故障したことをきっかけに気分が不安定になった。チェックアウト時間間際であったため、体調が悪いためチェックアウトの時間を少し延ばしてほしいと申し出があった。

【対応例】意向を聞かれることなく、一方的に警察をよぶため出て行けという旨を告げられた。

合理的配慮を行うために

建設的な対話を重ねることが大切です。

◆本人と話をすることが大事

- ・障害のある方が「ふつうに暮らせる」「サービスを受けられる」ようにするには、
- ・その人が困っていることを聞いて、どんな工夫やサポートがあればいいかを一緒に考えることが大切。

車いす利用者のために段差に携帯スロープを渡す、高い所に陳列された商品を取って渡すなどの物理的環境への配慮を行う。



筆談、読み上げ、手話などによるコミュニケーション、分かりやすい表現を使って説明をするなどの意思疎通の配慮を行う。

ケース紹介



ケース紹介

Xさん

両親と共に自宅で暮らしていたが、わずか2か月のうちに父親、母親が立て続けに亡くなる。一人暮らしとなった。かかりつけの医療機関はなく、直接的な支援者が不在となってしまった。

姉（県外在住）の思い

本人は言葉数が少なく、訴えがあまりない。生活費がない時に訴える程度。食事は自分で買ってきたり、作って食べているようだが、金銭管理・戸締り・着替えが出来ていない。何とか一人暮らしが続けていけるようにサポートをお願いしたい。

Xさんの気がかりさ

- 言葉での発信するのが苦手みたい…
- 金銭管理が苦手みたい…
- 生活の中で出来ることもあるけど、やっていないこともあるみたい…
- 支援者がいなくなって不安みたい…

相談に至ったきっかけ

母親に介護保険サービス導入のため、ほやねっと（包括支援センター）のケアマネジャーが訪問した時にXさんの存在を確認。ほやねっとを通じて、相談に繋がった。

支援の見立て

- ①本人から言葉での発信が少なく、緊急時や体調不良時にはどうすればよいのか分からないのでは？
- ②周囲の方とのかかわりがほとんどなく、不安では？
- ③施錠、掃除・衛生面の保持、金銭管理等が困難なため、家族と連携を図りながら継続的な支援が必要では？

手立て

- ①本人の特性や出来ること、苦手なことを知るために医療機関への受診を勧める。本人も了承され、ほくせい付き添いの上で受診に至った。
- ②地区の町内会長さん、民生委員さんと連絡を取り合い、ほくせいが関わっていくことをアナウンス。気がかりさがあった時の連絡を依頼。
- ③生活面の支援が必要と思われたため、家族と相談の上で低額な実費のホームヘルプサービスの利用を開始することとなった。

支援のポイント

Xさんの場合、医療機関にかかっていなかったため、Xさんの特性や福祉サービス利用が妥当という、医療的な根拠や必要性が分からなかった。

そのため、医療機関への受診からスタート。支援開始までに時間がかかると思われた。

しかし、地域の町内会長さんや民生委員さんが気にかけてくれていた!相談員から連絡を取ることで...

スムーズな連携とサービス利用に繋がった!

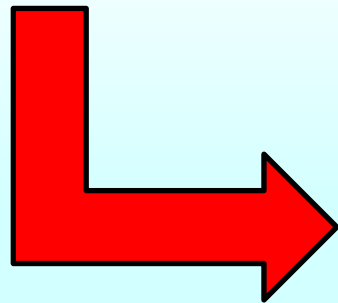


応援団を増やしていくイメージ

色々なカテゴリの専門機関がある。

地域で暮らすために必要なことは何か？

見て、体験して、どうするか考える。



知って頂きたいこと

- 困ったら、地域と一緒に考えてくれる方がいるんだ。
- 頼ってもいいんだ。
- 応援してくれる人がいるんだ。
- おや?と思った時には、気軽に相談してもいいんだ。



何かあったら気軽にご相談ください。

相談先①

地区障がい相談支援事業所

身体・知的・精神の区別なく障がいに関する基本的な相談に対する地域の身近な相談窓口。市内を4つに分けた地区担当割となっています。

- ◆ほくとう:福井市新保町16-3-2 クローバーハウス内(43-1229)
- ◆ほくせい:福井市燈豊町43-9-3 九頭竜ワークショップ七瀬の郷内
(080-8998-0033)
- ◆なんとう:福井市下六条町217-4 (福)六条厚生会内(41-2334)
- ◆なんせい:福井市有楽町3-4 松坂ビル1階102(50-6572)

相談先②

基幹相談支援センター

「総合的、専門的な相談支援」、「権利擁護、虐待の防止」、「地域の相談支援体制の強化」、「福井市障がい者自立支援協議会の運営への参画」などを行う福井市の中核的な相談機関。障がい者虐待の通報、届出の窓口となる「虐待防止センター」の業務も行っています。

場所：福井市有楽町3-4松坂ビル1階101

電話：0776-50-3823 FAX：0776-50-3824

Eメール：

kanan@konomiti9100018.com

居宅生活支援部会

ご清聴ありがとうございました。

※参考資料…内閣府HP、政府広報オンライン